

議会だより

とよさと



※撮影(黙撮)時のみ
マスクを外しています。



Contents

6月定例会

- 6月定例会
- 委員会Report
- 私はこう判断
- 6議員が一般質問
- 議員活動等紹介
- 視察

- ②
- ③
- ⑤
- ⑦
- ⑪
- ⑫



第90号

2022年8月26日



よいとちゃん

補正予算

主な補正の内容

○住民税非課税世帯等臨時特別給付金

1,500万円

国の事業で、令和4年度新たに住民税が非課税となった世帯等（※すでに支給対象となった世帯を除く）に対して給付金が支給される事業。一世帯10万円、150世帯。

○低所得子育て世帯生活支援特別給付金

750万円

18歳以下の子育て世帯（令和4年度住民税が非課税となった世帯）に対する子ども一人当たり5万円、150人分。

○新型コロナウイルスワクチン接種委託

277万円

新型コロナワクチンの4回目接種を実施する。



○コロナ対策地域経済活性化事業委託

9,907万円

地域経済活性化と生活支援を目的に、各世帯に一律3万円分の商品券を配布する。コロナ禍において、原油価格や物価高騰による生活支援および地域で使える商品券にすることで、町内事業所を支援する。

○防犯カメラ設置工事(大町教育集会所・三ツ池教育集会所・豊栄のさと)

175万円

防犯対策の一環として、施設の安全管理の強化や侵入者を未然に防ぐため、公共施設に防犯カメラを設置する。

○中学校休業等対応助成金

1,252万円

国が定める「新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金」の対象外となる中学生の保護者に対して、学級閉鎖等の措置を講じた期間助成金を交付するもの。対象者は、在学する生徒の長子の保護者で、国が定める新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金給付対象となる世帯は除きます。

助成金の額は、学校閉鎖等、学校授業日1日につき1万円、給付対象となる期間については、令和4年1月1日から令和4年3月31日までの休業した日。

○備蓄倉庫整備工事(日栄小・豊日中)

1,387万円

広域避難所における備蓄倉庫の建築。(日栄小学校、豊日中学校)

6月 定例会

6月定例会を、6月6日から21日まで16日間の会期で開催しました。町長から提案された案件13件（承認4件、報告1件、契約議決1件、補正予算7件）で、その中から補正予算6件を委員会に付託しました。

一般質問は6月7日に6議員が行いました。

6月定例会は最終日、付託していた議案6件（補正予算）について、各常任委員長から付託審査の結果が報告され、原案通り可決して閉会しました。

予算決算常任委員会

予算、決算に関すること

レポート作成：中島政幸 委員長

令和4年度豊郷町一般会計補正予算（第2号）

総務課

問 長期債元金が1382万円減額になっているが、説明を。

答 この1382万円については、令和3年度3月議会の追加補正予算で計上した特別交付税が少しく多く入ってきたので、繰上償還をした事により、今年度の償還額が減額となりました。

企画振興課

問 原油価格物価高騰対応分も今回3500万ですが、補正で配分されると思うのですが、どれぐらい予想されるのか、それから新型コロナウイルスの地方創生金も去年は、約1億4000万円から5000万円です。それらの補助金をどのように活用されようとしているのか、現時点で計画があれば説明を。

答 今回の原油高の国の予算は、配分率を計算すると1000万円を見込

んでいます。計画の見直しは庁内全体で検討します。

問 それをどういう形でメニューの中から拾おうとされているのか、今回はどこまで対応されるのか。

答 事業者支援とか、福祉の視点とか、教育支援等あるので、それぞれの課がどのようにコロナ対策をするのかということ。4月25日現在のワフチン接種率によって分額が変わるという1項目が入るようであり、今までは変わる状況があると思います。

保健福祉課

問 公用車の購入内訳は、すまいるたうんばすの購入費です。購入から12年が経過しており、走行距離は既に31万kmとなっていることから、今回購入補正を計上しました。

医療保険課

問 人材派遣の委託業者名と、どのような資格を

持っている方なのか。

答 エムステージという人材派遣会社に登録されている医師のみです。

人権政策課

問 公園の管理面でもいろいろと問題はあるが、土管があったり、溝があったりすると、逆に危険だと思ふ。その辺も含めて、町の方で精査していただいて、今後どのような方向性でいくかを改めて考える時期かと思ひますので、よろしくお願ひします。

答 以前から駐車場とか、近隣の人から分けてくれという話は聞いています。今後、県とか国に問い合わせをして、要望に沿えるような形で行政としてはやっていきたいと思ひています。

産業振興課

問 全世帯にクーポンを配布し、1世帯あたり3万円という説明だが、世帯数は何軒か、期限はいつまでか、どのような形で啓発し利用を高めたい

こうと思っておられるのですか。

答 枚数は4月30日現在の世帯数が3079世帯で多めに見まして、予算で3100世帯に、3万円9300万円を見込んでいます。前回も使う期限が1月未だったのですが、今回についても製作等を考えていくと、予定では10月ぐらいに世帯に渡し、昨年と同様1月末まで使える形にすると燃料費等にも使えるのではないかと考えております。

教育委員会

問 需用費の消耗品費と修繕料の内訳、備品購入費の内訳説明を。

答 オムツ処理機は2万4500円、ソフトブロツクが25万4980円、飛沫防止パネル、パーティション18セットで49万6980円です。修繕料は、愛里保育園のウッドデッキの修繕になっております。ささくれができましたので研磨塗装を行います。次に、備品購入費87万6000円はタオル掛け8台、避難車1台、体表温度測定器で、これ

らはコロナウイルス対策です。

教育委員会総務課

学校教育課

問 修繕費の内容は。

答 豊郷小学校修繕費は、昨年度末、3月に行つた消防の点検で指摘事項があり、修繕に入ります。内容は、ガス漏れ探知機20台、改修ハッチ、11段梯子4台です。

問 ガス漏れ探知機は、どこに設置してあるのですか。

答 特別教室に付いております。

問 難聴の方などが入学される場合には、専門の先生を置くのか。

答 特別支援学級の先生は、特別支援教育の講習を受けた先生を配置していただく場合があります。配置されない場合は、学校の中で一般教諭の先生が特別支援学級の担任をするということがあります。難聴とか特別な器具、例えば耳の近くに置くスピーカーとか、そういった部分での施設の中で備品の補充あるいはその他必要なものを揃えて

いきます。

問 障害を持たれた方の専門の教室とか、対応する人とかは考えておられるのか。

答 就学前に普通学級に入るのか、あるいは特別支援学級の方が適切なのかを検討する委員会があります。入学するまでに検討会で協議し、それに応じて改修と備品整備、そういったものは先に揃えるということになります。

問 備蓄倉庫は新たに新築するのか、既設の倉庫を壊して建てるのか。

答 日栄小学校に新規で建てます。場所は、小学校体育館側に設置されます。

問 防災備蓄倉庫には、どのような物を備蓄するのか説明を。

答 今後、検討します。



教育委員会総務課
社会教育課

問 豊栄のさとの防犯カメラは何ヶ所設置されるのか。大ホールの使用はどのような形になっているのか。全国的に指定管理制度が行われているところが増えているが、今後指定管理者制度を考えていく必要があるのではないか。

答 設置場所は正面玄関、また裏口、駐車場の入り口です。

現在の文化ホールの状況では、コロナ禍によって人数制限をかけていて、最大161名までの場合の申請に限り、使用を許可しています。

今後の指定管理等々ですが、豊栄のさとは公民館、また広域行政組合、社会福祉協議会が入っている部分。そういった公的なものイベントで使うようなホールの部分と、性質が異なってきたので、その性質をよく見極めながら、指定管理が適しているのか、直営がいいのかを、十分協議の上、今後検討します。

総務産業建設常任委員会

行財政、総務、人事、農業、商工業、観光、建設、上下水道、公営、改良住宅、人権に関すること
レポート作成：西澤清正委員長

議第34号 豊郷町水道事業会計補正予算（第1号）

問 水道管網計算というのはそもそもどういうものか。補正額が500万円当初予算の4分の1ぐらいの補正で当初予算に比べると大きな補正となっているがその理由は。

答 沢地区で宅地の分譲地が150戸分ほどの予定があるということから、南部の浄水場から送っている水量が不足しないかについて流量計算等を行い、既設管口径の適合性を調査委託するものです。

問 原価償却が4つ説明されているが、貸借対照表の資産の部、一番右側が償却後の資産残か。貸借対照表との絡みで説明を。

答 貸借対照表上では、今までの積み上げの金額になっているので補正している額と一致はしません。有形固定資産の合計欄で見ますと14億円ほど、これが今資産として減価償却を終えて残っ

ているものの価格、価値になります。

問 大雪時における水道管の破裂、漏水、断水はあったのか。

答 何軒か凍結によって漏水したということは聞いています。断熱材が劣化して断熱効果が無く、そういう所が多くみられるので、寒くて雪が降るようなときには凍結対策を広報にて周知を図っているところです。

議第35号 下水道事業会計補正予算（第1号）

問 雨水処理負担金はどこから入ってくるのか。

答 雨水処理負担金については、一般会計からの繰り出しで下水道事業会計に入ります。今回の計上分は、昨年度実施しました雨水流出解析調査の財源とした企業債の元利償還相当額を繰り入れて

います。

問 宅地開発に伴う委託業務後は、どの地域のどの辺で宅地開発されるのか説明を。

答 場所は天稚彦神社の

十字路のところに沢の揚水ポンプがあります。そのあたり一帯で揚水ポンプから南西の田んぼ一帯、貝ノ町の南付近に150戸ほどの宅地開発をされると聞いています。

問 減価償却期間は長い期間で何年、短いので何年か。

答 マンホールの耐震工事の構築物では50年。地震対策設計積算価格業務・雨水流出対策調査などの委託業務については2年となっています。

問 道路を新しく舗装したあと、道路沿いに家が建てられて舗装を切断することがあるが、やむを得ないことか。

答 道路の舗装は地域整備課で路面性状調査を断して5年計画で舗装する場合と字からの要望で舗装を直す場合とあります。しかし、家を建てたりして上下水道施設を引くにはどうしても舗装を切らないと引けません。このことはやむを得ないと考えます。

議第31号 豊郷町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

問 人事異動による補正ですが、具体的な説明を。

答 去年育児職員1名が介護保険担当に変わり、それを受け、介護保険担当1名が国保担当に変更になった件と職員1名が5月末付けで退職したため、総数として減になったためです。

議第32号 豊郷町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

問 これも人事異動による補正ですが、具体的な説明を。

答 今年4月に包括支援センター職員1名を採用しましたので1名増員です。また、この職員は、社会福祉士の資格があり経験者採用なので、一般の新卒より俸給は高くなります。

文教民生常任委員会

教育、福祉、衛生、医療、戸籍、年金に関すること
レポート作成：今村恵美子委員長

議第33号 豊郷町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

質疑、討論なし

議案審査終了後、当委員会所管の「日栄のさと」及び「豊日中学校」の空調設備改修等の現場視察を実施しました。



6月定例会

全 員 賛 成	
議第23号	専決処分につき承認を求めることについて（豊郷町税条例の一部を改正する条例）
議第25号	専決処分につき承認を求めることについて（豊郷町介護保険条例の一部を改正する条例）
議第26号	専決処分につき承認を求めることについて（令和4年度豊郷町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号））
議第27号	令和3年度豊郷町一般会計繰越明許費繰越計算書について
議第28号	契約の締結につき議決を求めることについて（日栄小学校空調工事・愛里保育園空調工事請負契約について）
議第29号	令和4年度豊郷町一般会計補正予算（第1号）
議第30号	令和4年度豊郷町一般会計補正予算（第2号）
議第31号	令和4年度豊郷町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
議第32号	令和4年度豊郷町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
議第34号	令和4年度豊郷町水道事業会計補正予算（第1号）
議第35号	令和4年度豊郷町下水道事業会計補正予算（第1号）

賛否が分かれたもの	議員名											結果
	日比野	辻本	中島	村岸	前田	高橋	西澤博	鈴木	西澤き	今村	河合	
議第24号 専決処分につき承認を求めることについて （豊郷町国民健康保険税条例の一部を改正する 条例）	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	-	承認
議第33号 令和4年度豊郷町後期高齢者医療事業特別会計 補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	⊗	◎	×	○	×	-	可決

（○は賛成、◎は賛成討論を行った、×は反対、⊗は反対討論を行った。議長は可否同数の場合のみ裁決に加わる）

議第33号「令和4年度豊郷町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）」に対する討論

反対討論（高橋直子議員）

世界にも類を見ない、高齢者を年齢で差別する後期高齢者医療制度は、直ちに廃止して、従前の「老人保健制度」に戻すべきです。

今回の補正予算は、人事交流によるものですが、何より、年度途中での入れ替えであることに疑義が生じています。また、職員としては中堅幹部として活躍が期待されていた職員の退職という事態に伴う事案であり、同様の中堅職員の度重なる退職が続いている伊藤町政の問題点も指摘しまして反対といたします。

賛成討論（西澤博一議員）

今回の補正予算は、14万9,000円の増。これは職員の給料、また、職員手当等に係る予算で、反対討論を聞きますと、根本的には後期高齢者医療制度について反対ということですが、今回の補正予算は14万9,000円の増に対する補正予算ですので、それは全く違っているかと思えます。

ここが聞きたい

一般質問

一般質問とは

議員がその町村の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものである。

6月定例会では6議員が20問の一般質問を行いました。

●今村 恵美子 議員

- ☆債権放棄（1,300万円）の町責任は
 - ・少子化・低所得対策の充実を
 - ・豊郷町同和対策事業の完全終結に向けて
 - ・お金を使わず環境につけを残さないごみ行政を

●中島 政幸 議員

- ・コロナ禍における地域の伝統と文化について
- ・ウクライナ避難民の支援体制について
- ☆ふるさと納税の課題と展開について



●鈴木 べんいち 議員

- ・新年度の人事体制について問う
- ☆ごみの増減を、目に見える形で
 - ・改良住宅譲渡事業の現状と今後について問う
 - ・本町の農業をどのようにして守り、発展させるのかについて問う
 - ・民間保育園の役割と支援について問う
 - ・日栄小体育館の増築・新築について問う

●高橋 なおこ 議員

- ☆「子どもの権利条約」にてらして、貧困の実態はいかがか
 - ・児童福祉法にてらして学童保育をより充実したものに
 - ・若者定住支援策の充実を
 - ・生理の貧困対策として「生理用品のトイレへの設置」を

●村岸 善一 議員

- ☆災害対策と消防団活動を問う
 - ・豊郷町の農業への取り組みを問う



●日比野 雄二 議員

- ☆コロナワクチンの接種率と、4回目の接種について問う

☆の質問を掲載しています。



今村 恵美子 議員

問 債権放棄(1,300万円)の町責任は

答 債権回収はしっかりやってきました

問 町財政で2点質問します。

まず、前大野町政下で起きた「町官製談合裁判」は、現伊藤町政においても官製談合はなかったという立場で裁判を続行しました。裁判所は、前町長の関与は証拠不十分で却下しましたが、業者談合は19業者を認定し総額約5000万円の違法利得金の町返還を命じる判決を出しました。しかし、まだ未返済業者がいます。町はどう回収するのか。

答 次に、役場庁舎改築事業は伊藤町政で約13億円をかけた大型公共事業です。総事業費の財源説明と少子高齢化の中で後年度負担を減らす町方針を問います。

6324万円で、財源は、町費が5億2924万円、起債(借金)は7億3390万円、国庫補助金は1億8350万円で、起債は30年償還で年償還額は約3000万円で、後年度負担の軽減は、できるだけ繰り上げ償還を努力したいと考えています。

問 私は、平成28年3月議会でも未返済問題をどう解決するのか聞いています。しかし、今日まで放置したままです。地方財政法、地方自治法では、公金支出に対する地方自治体の執行責任を明記しています。町長はこの未返済金をどうするのか。そして、庁舎改築事業の国庫補助金が計画より少なかった理由は何か。

答 未返済金は、議会の議決を取り、債権放棄を考えています。庁舎改築事業の国庫補助金の減った理由は、解体工事と別館工事の部分が補助対象にならなかったからです。

ここが聞きたい



中島 政幸 議員

問 ふるさと納税の課題と今後の展開について

答 地域内事業者が活性化するように取り組んでいきます

問 2008年にスタートしたふるさと納税は2020年代、これまで以上に質の充実と多様化が進むことが予想され、ふるさと納税にとって新たな10年が始まる前に、課題と今後の展開をお聞かせいたします。

答 ①寄附件数増加につながっているのか。
②売上げ増加につながっているのか。
③地域内経済循環拡大につながっているのか。

問 地域での雇用を増やし、地域の納入業者を増やしているのか。大事なのは地域内経済循環拡大、簡単に言えば、儲かったお金がもう1回地域で回るのか、ここまでの目標を持たないと、大変な時期に入ってくるのではないかと思うが、今後の目標は。

答 寄附されていることが、地域経済の活性化につながっているものと思っています。

問 豊郷町の新たな段階は、地域内経済循環拡大を考え、これからの10年を見据え、目標を定めて、金額とか税収ではなく、地域内にどれだけお金が落ちるか、ふるさと納税に携わる人たちをどれだけ増やすか、中学生、高校生、また商工会など、住民の方と連携して、新たな発想が必要かと考えるが見解を求めます。

答 地域内の事業者が、活性化するように取り組んでいきます。



鈴木 勉市 議員

問 ごみの増減を、目に見える形で

答 できるものなら可視化したい

問 ごみ問題は、ごみを減らすというだけではなく、地球温暖化防止、持続可能な社会をどう作って行くのかというスタンスで考える必要があると思います。ごみ問題の解決には、行政・住民・企業が協同して取り組む必要があると思います。行政は、ごみ15%減量の目標を設定した訳ですから、この目標を達成する義務があります。そこで、次の点について明らかにされたい。①今年度はごみをどれだけ減らす計画なのか。②生ごみリサイクル会員の拡大をどのように進めるのか。

答 ①1年間で、約1・2%の減量をする計画です。②新興住宅地の方にも啓発をして行きたい。
問 ①生ごみリサイクル会員を大幅に増やす事を提案しますが、今の募集要項には「各字で5名から15名の会員家庭を募ります。」とあり、この「各字」という縛りはずして、若い家庭に参加を呼びかけてはと思いません。高齢者に比較して若い人たちが地球温暖化などに敏感だからです。②ごみ減量への意識、意欲を高めるために、今、ごみがどれだけ減っているのか、増えているのかが分かるように可視化する事です。役場庁舎の玄関には、その日の発電量が目で見えるような形で示されていますが、ごみの毎月の増減を何らかの形で示すようにしてはどうか。

問 「子どもの権利条約」にてらして貧困の実態はいかがか

答 町としては調査していないのでわからない



高橋 なおこ 議員

問 「子どもの権利条約」は、子どもの生存、発達、保護、参加という包括的な権利を実現、確保するための具体的な事項を規定している。その観点から子ども達の健やかな育ちの保障を願い、以下問う。

問 令和3年度に内閣府が行った初めての生活調査で、準貧困層は36・9%、貧困層は、12・9%、ひとり親の貧困層は50・2%、母子家庭は貧困層が54・4%と分析している。本町の実態はどうか。

答 調べていないので分からない。ひとり親家庭については、児童扶養手当制度があるので紹介している。

問 コロナ禍で増えている、児童虐待の把握件数と相談・支援体制は。

答 70件（兄弟件数もあり35世帯程度）。子ども家庭相談センター、教育委員会、学校、保健所等の関係機関と連携し、

訪問・面談を行っている。
問 希望する子どもがお金の心配なく安心して高等教育を受けられるように学生への給付金制度を。（提案：豊郷病院の看護師の養成のためには、町として1人10万円の補助をしているので同様に対応を。今年度の済美会からの寄附金500万円から運用したらいかがか。）

答 義務教育ではなく、100%の子どもが高校に行くわけではないから公平感の意味で給付金は考えていない。
 高校に行けば学生援護協会や奨学金制度があるからそちらの利用をして頂きたい。
 済美会からは12万円の寄附金を交付して頂いている。

給付型奨学金支給実績 (米原市)

年度	支給人数
2018年	29人
2019年	26人
2020年	32人
2021年	40人
2022年	45人

問 災害対策と消防団活動を問う



村岸 善一 議員

答 水防訓練は実施に向けて分署と協議する

問 コロナ禍で防災訓練は中止されてきたが、今年度はどのような方法で実施され、その中で消防団との連携が重要であると思うがどのように考えているのか答弁を求めたい。
答 ①本年度の防災訓練は中止されたが、今年度はどのような方法で実施され、その中で消防団との連携が重要であると思うがどのように考えているのか答弁を求めたい。②災害時の町民への連絡方法は。③行政懇談会で出た災害対策はどのように解答されたのか。④いままで避難所を開設して、利用された方は何人おられ、どのような意見が出たか。⑤本年度の消防団員は何人が。⑥消防車を運転するには普通免許と中型免許がいるが運転手は限定されているのか、またどのように確認をしているのか。⑦消防団員の体調管理は本人がするのは当然だが、町や団幹部は知っておく必要だと思うがどのように考えているか。⑧町独自の水防訓練はその後どのようになっているのか。

①豪雨災害を想定して実施予定で、災害対策本部と各字の一時避難場所への避難訓練を想定。②防災無線を主として、町のホームページやテレビ、ラジオと連携して情報提供。③湖東土木事務所道路課長に写真を添付して対応をお願いしたところ、湖東土木事務所も現状を確認したいが、行政懇談会后、大雨が降っていないため確認が出来ていない。④約300人が利用された。⑤本年度は38名。⑥入団時に免許の保有状況について本人に確認をしている。⑦消防団活動に支障の出るような疾病がある場合は、本人から申し出があると考えており、そうでない場合は特に把握していない。⑧新型コロナウイルス感染症のため協議が進んでいない、今後、コロナの状況も踏まえ実施に向けて協議をしていきたいと考えている。

ここが聞きたい

問 コロナワクチンの接種率と、4回目の接種について問う



日比野 雄二 議員

3回目の接種率→79.6%(ワクチン廃却率→0%)

答 5歳~12歳未満の接種率→1回目:11.4%、2回目:5.6%(3回目無し)
4回目の接種→3回目後5ヶ月から60歳以上で実施する(9月未完了)

問 3回目の12歳以上の接種率、5歳から12歳未満の接種率と、今後の接種回数、4回目の接種の実施計画と、町としての考えを問う。
答 12歳以上の接種率は、令和4年5月31日現在で79.6%となります。5歳から12歳未満の接種率については、こちらも令和4年5月31日現在で、1回目接種が11.4%、2回目接種が5.6%となります。接種回数については、3回目接種は承認されておりません。4回目接種は3回目接種の完了から5か月以上経過した60歳以上の者及び18歳以上60歳未満の者であって、基礎疾患を有する者に接種を実施する予定です。完了予定日については、令和4年9月30日としております。

問 3回目の接種率までの間のワクチンの廃却率を教えてください。
答 5歳から12歳未満の接種率が、非常に低い、集団免疫を得るためには最低でも60から70%の接種率が必要です、上げる努力をしないと、町としての考えをお願いします。
問 12歳以上の対象者については努力義務規定が設定されておりますけれども、5歳から11歳については、努力義務規定はございません。接種勧奨ができません。接種勧奨ができれば、いいお知恵があれば拝借できればと考えております。
問 ゼロ歳から5歳未満の子どもの接種について、今後の考え方は。
答 0歳から5歳までの接種は、厚生労働省・厚生科学審議会で、最終的に判断されると思いますので、動向を見て、判断したいと思います。

政府が進めるコロナ克服・新時代開拓のための経済対策における 公的部門（保育等）における処遇改善事業の実施を求める請願

<請願趣旨>

政府は「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」（2021年11月19日閣議決定）の中で、新型コロナウイルス感染症への対応や少子高齢化への対応に最前線で奮闘するエッセンシャルワーカーの収入を月額1～3%引上げることを決め、補正予算を成立させました。この補正予算では、保育所・幼稚園・放課後児童クラブ・社会的養護・介護・障害福祉・看護職員等の処遇を改善するための各種補助金が創設され、関係府省より実施要綱が発出されました。これらの補助金は、各現場で働く地方公務員の処遇改善に必要な費用についても対象とされており、必要な財源は2～9月までは補正予算で補助金として交付され、10月以降は公定価格分が一般財源化された地方交付税として措置されることが決まっています。

言うまでもなく本件は、政府が推進する「成長と分配」「人への投資（人材の確保・育成）」を軸とした「新しい資本主義」を実現するために不可欠な事業の一環であるとともに、ポストコロナの社会経済活動の再起動や、人材の確保と育成を軸とした持続可能な行政体制の確立および地方創生をすすめるうえでも極めて重要な国策です。

したがって、単に1自治体や近隣自治体間の賃金水準の比較あるいは地域民間水準との較差等を根拠とした特定地域の「賃金政策」ではなく、地域社会全体の賃金水準の底上げを図り、ひいては日本経済の低迷と閉塞感を打ち破るために、国全体の「経済政策」として議論されるべき課題です。政府・地方自治体が一丸となり、コロナを克服し、新しい時代へ日本を再起動させるための歴史的転換点をつくり出せるかどうか、まさに地方自治体の姿勢が問われています。

つきましては、以下のことについて請願します。

記

本事業の対象となる職種について、処遇改善に必要な予算を確保して手続きを遅滞なくすすめてください。

提出先：豊郷町長 伊藤 定勉 様

※この請願は、3月定例会で採択されたものです。



議会の仕組み



みなさんは、どなたでも身近で困っている問題について町議会に請願・陳情を行うことができます。

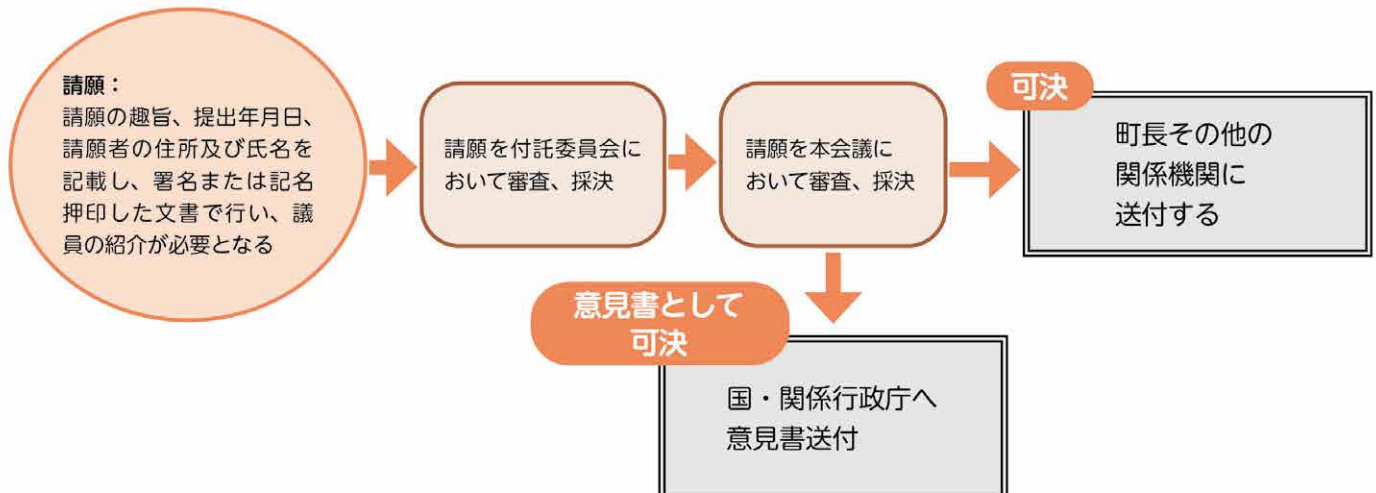
Q 請願とは？ 陳情とは？

A 請願と陳情は、要望等を議会に訴える手段という点では同じですが、形式が異なります。

請願：憲法で保障された国民の基本的権利であり、その方式や処理の手続きなどが定められています。また、請願は紹介議員が必要です。

陳情：憲法で定められていません。また、紹介議員は必要ありません。全議員に配布されます。

(注) 郵送の場合は、請願(陳情)として受付けることはできませんが、要望書として全議員に配布します。



議員活動等紹介

※下記番号は議席順。
今回は9、10、11番になります。

5 前田 広幸

地元でできることは 地元で

豊郷町議会議員となり、まもなく3期目が終わろうとしています。初当選した日より皆様からの要望などが、100%実現できるようにと日々活動を続けているところです。

これまで私は常任委員長、議長を歴任し、今期は議会選出の監査委員として4年間を務めています。この間、執行される各種事務事業が適切な規模、内容をもって効果的な運営となっているか、事業目的を達成できているかについて定期監査等による状況確認を踏まえ、その執行が法令に適合し、最小の経費で最大の効果を上げるように努めているかについて監査し、皆様に信頼と理解を得られるよう十分留意して各種監査等を行い、議会に報告してきました。

また、地産地消や町内業者の育成として、可能な限り地元農業者・事業所等からの調達など、「地元でできることは 地元で」を心に常に留めて活動しています。

今後も町議会議員として皆様からの要望等を町行政に訴えかけ、時には皆様のお声を県や国に対し届けるため、議員活動に励む所存でありますのでよろしくお願いいたします。

6 高橋 直子

名実ともに“子育てしやすい町”に

町民の方々からの相談事に対して、背景を聞かせて頂いたり専門機関及び役場担当課につないだりしています。

中には、私に相談に来るまでに「相当悩んだ」という方も。悩みを打ち明けるということは、そのくらい大変な行動のようです。すぐに解決することばかりではなく、宿題として持ち続けているものもあります。しかし、少しでも前進するように勉強を重ねて解決策を探っています。

一般質問には必ず立ち、「あきらめない」をモットーに、中には、繰り返し取り上げている項目もあり、「何べん同じことを聞いているのだ?」と言われることもあります。納得いく答弁が出るまで聞き続けたいと思います。それが議員の仕事ですから。

保育士だった経験上、「子ども達の健やかな育ちの保障」に力を入れています。子どもは社会全体で育てていかなければなりません。コロナ禍を受け、子ども達や保護者への支援は待ったなしです。「生きやすい&学びやすい環境づくり」の提案を続けたいと思っています。

7 西澤 博一

一人ひとりの「絆」を大切に

皆様のご支援を賜り、現在4期目の議員活動を務めさせていただいております。本当にありがとうございます。

私はこの間、次のような事柄に取り組んでまいりました。

- ・子どもたち、高齢者の交通安全対策
- ・防災、減災、河川等の対策
- ・農業関係施策の推進
- ・教育、福祉等の推進
- ・医療、福祉施設の支援

しかし、人口減少・少子高齢化などで社会が大きく変わっていくなか、私は次のような課題に今後取り組んでいこうと考えています。

- ・人口減少、少子高齢化の対策
- ・未来を担う子どもたち、若者たちの支援
- ・ふるさと納税の促進
- ・旧豊郷小学校などの観光対策
- ・新興住宅の促進と人口増加

一人ひとりの絆を大切に、住民の要望・提案に対応して、誰もが住んでよかったと思える「とよさと」をめざしてがんばります。

8 鈴木 勉市

“志” わすれず

1935年初秋、あららぎ歌人土屋文明は、東京女子大講堂の演壇で、かつてこの大学に学んだ教え子・伊藤千代子に思いをさせ、次の句を詠んだ。

ころざしつつ たふれし少女よ

新しき光の中におきておもはむ

伊藤千代子は、1905年長野県諏訪で生まれ、1928年3月15日の大弾圧で検挙され、特高の拷問を受け、その後、1929年24歳の若さで死去しました。戦争反対を叫ぶだけで、逮捕され、拷問を受けた暗黒の時代に、権力に抗して声をあげ、悔いなき青春を駆け抜けた彼女の生涯を描いた「わが青春つきるとも —伊藤千代子の生涯—」が昨年から制作され、上映運動が全国で行われました。この映画を、彦根・犬上・愛荘地域で上映するために実行委員会が作られ、私は、その事務局を担いました。映画には、東京女子大の学長役で竹下景子など多彩な俳優が出演しています。5月に開いた上映会には、2日間で300人をこえる皆さんに観ていただく事ができました。

青年期にころざした、差別のない社会をつくるためにもう少し頑張りたいと思うこの頃です。



▲エアコン室外機（豊日中学校）



▲エアコン室外機（日栄のさと）



▲生ゴミ処理機（日栄小学校）

文教民生常任委員会

現場視察報告

文教民生常任委員会では、6月13日に委員会を開き3件の議案審査終了後、日栄のさと及び豊日中学校の空調設備等の視察を行いました。

日栄のさとは、日栄小学校と愛里保育園の複合施設です。今回の工事は約1億円で、エアコンの室内機・室外機の取り換えや冷媒管の改修等を実施するものです。

また、日栄小調理室に設置している生ごみ処理機の説明も受けました。この処理機は365日稼働で生ごみを発酵・分解し、最後は炭酸ガスと水にかわり下水道等に排出されるシステムです。

豊日中学校の空調設備は、昨年の大雪で2基あるエアコンの室外機1基が壊れたため、当面リースのエアコンを設置する改修で費用は約500万円です。今後、もう1基も老朽化しているので、空調設備全体の改修も検討したいという説明でした。

編集後記

「命が危険にさらされる」と表現される異常気象が続き「高温・干ばつ・山火事・大洪水」等のニュースが後を絶ちません。

「豊郷は平地で災害には縁遠い町」と言われてきましたが、昨年は「吉田地先の岩倉川が氾濫するのでは？」という現象が起きました。

昨年3月に発行された「豊郷町総合防災マップ」を再度読み直し、非常持ち出し袋」を点検したところです。

地球上のどこにも「絶対安全地帯」はありません。想定外」を引き起こすのが自然の恐ろしさです。

町民への避難体制の周知と充実で、被害が出ないことを祈るばかりです。

高橋直子

議会広報常任委員会

委員長 高橋 直子

副委員長 今村恵美子

委員 西澤 清正

河合 勇

9月議会の予定

9月定例会は9月5日開会予定です。

議会だよりは、ホームページでもご覧になれます。

新しい議場になりましたので、ぜひ傍聴にお越しください。

